

# WHO ファクトシート

## 青少年期の妊娠

### Adolescent pregnancy

2018年1月

#### 重要な事実

- ・開発途上地域で、毎年15～19歳の推計2100万人の少女と15歳未満の200万人の少女が妊娠している(1)(2)。毎年開発途上地域で、15～19歳の約1600万人の少女と16歳未満の250万人の少女が出産している(2)(3)。
- ・世界的に、妊娠及び出産中の合併症は、15～19歳少女の死亡原因のトップである(4)。
- ・毎年、15～19歳の少女の約390万人が、危険な中絶をしている(1)。
- ・10～19歳の青少年期の母親は、20～24歳女性に比べ、子癇、産褥性子宮内膜炎及び全身感染症へのリスクが高く、また青少年期の母親から生まれた赤ちゃんは、20～24歳女性から生まれた赤ちゃんに比べ、出生時低体重、早期出産及び新生児期の重篤な体調へのリスクが高い(5)。

#### (注)

(1) Darroch J, Woog V, Bankole A, Ashford LS. Adding it up: Costs and benefits of meeting the contraceptive needs of adolescents. New York: Guttmacher Institute; 2016.

(2) UNFPA. Girlhood, not motherhood: Preventing adolescent pregnancy. New York: UNFPA; 2015.

(3) Neal S, Matthews Z, Frost M, et al. Childbearing in adolescents aged 12–15 years in low resource countries: a neglected issue. New estimates from demographic and household surveys in 42 countries. Acta Obstet Gynecol Scand 2012;91: 1114–18. Every Woman Every Child. The Global Strategy for Women`s, Children`s and Adolescents` Health (2016-2030). Geneva: Every Woman Every Child, 2015.

(4) WHO. Global health estimates 2015: deaths by cause, age, sex, by country and by region, 2000–2015. Geneva: WHO; 2016.

(5) Ganchimeg T, et al. Pregnancy and childbirth outcomes among adolescent mothers: a World Health Organization multicountry study. Bjog. 2014;121(Suppl 1):40-8.

© World Health Organization

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014 年 3 月に WHO 本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Adolescent pregnancy ファクトシート原文は [こちら](#)